

平成15年度春期 情報処理技術者試験

## 初級システムアドミニストレータ 所見

今回より初級システムアドミニストレータ試験もスコアにより評価される。このため、午前試験、午後試験ともにボーダーラインをクリアする必要がある。

### 【午 前】

合格のためには70%以上の正答率が必要と思われる。

- ・ 解答時間は2H程度で十分であった。
- ・ 前回並みの難易度である。
- ・ 計算問題は電卓を利用しなくても十分解答できる程度のものである。
- ・ 過去問題からの流用はさらに多くなり、4割弱を占めるようになった。
- ・ 出題分野別の出題数はおおよそ次のとおりである。

コンピュータシステム	20問
ネットワーク	6問
表計算	3問
データベース	2問
システム開発と運用	15問
セキュリティと標準化	12問
情報化と経営	22問

コンピュータシステム、システム開発と運用、セキュリティと標準化、情報化と経営からの出題率が極めて高い。特に、セキュリティと標準化、情報化と経営の高い出題比率は、ここ数回の特徴といえよう。

これは、システムアドミニストレータに求められるスキル、近年のIT環境を反映したものと見えよう。

### 【午 後】

合格のためには70%以上の正答率が必要と思われる。

2.5時間で十分に解けるボリュームであり、前回と比べて手間のかかる問題が少なくなったと思われる。

- ・ 難易度は前回と同程度である。
- ・ 定番のテーマとしてDB1問、表計算2問が出題された。
- ・ DBと表計算のうち1問(問7)は比較的難易度の高い問題といえよう。

他のテーマの問題は、問題文を落ち着いて読めば解ける問題である。平均的な受験生であれば、壊滅的に失点してしまう問題はなかったといえよう。

今回の合格率は35%程度と見られる。

以上